



2022年1月21日

報道関係者各位

慶應義塾大学

慶應義塾大学アート・センター主催  
「Artist Voice II:有元利夫 うたのうまれるところ」展を開催  
(2022/2/14-4/22)

慶應義塾大学アート・センターが主催する新しい展覧会シリーズ「Artist Voice」の第2回となる今回は、これまであまり目に触れることがなかった、有元利夫の素描に焦点を当てます。独特の詩情に満ちたカンヴァス画で有名な有元ですが、しばしば音楽にもたとえられるそれらの作品は、どこから生まれてきたのでしょうか。画家が頭の中のコンセプトを現実世界に最初に表現する素描を通して、有元の多面的な創造活動に触れ、彼が奏でる音楽の源泉を味わう貴重な機会です。ぜひ、足をお運びください。

### 1. 基本情報

会 期：2022年2月14日（月）～4月22日（金）※土日祝休館

開館時間：11：00～18：00

会 場：慶應義塾大学アート・スペース（三田キャンパス南別館 1 階）

入 場：無料（WEB ページより事前予約制を予定）

展覧会ウェブサイト：<http://www.art-c.keio.ac.jp/news-events/event-archive/artist-voice02/>

※新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じて会期や入場方法など変更になる場合がございます。

最新情報は上記、展覧会ウェブサイトをご確認ください

主催：慶應義塾大学アート・センター

協力：有元容子、HIGURE 17-15cas

### 2. 展覧会概要

新しい展覧会シリーズ「Artist Voice」は小さな展示室 1 室という施設の特徴を生かして、作家の吹きや生の声を感じ取れるようなインティミットな展示を目指すものです。

第2回となる今回は、有元利夫の素描をとりあげます。有元がピエロ・デラ・フランチェスカなどによるルネサンス絵画を賞賛し、自らの芸術に取り込んだことは有名ですが、彼の素描作品についてはそれほど広く知られてはいません。特に作品として描かれた素描ではなく、ある対象を前にして写生したスケッチや、あるいは作品制作に直接繋がっていくいわゆるエスキースについては、これまでほとんど鑑賞者の目に触れることはありませんでした。しかし素描とは画家が頭の中のコンセプトを初めて現実世界に表現するものであり、完成した作品よりも純粹な着想の表現であるといえます。ある意味作品以上に芸術家の本質に迫ることができるメディウムでもあるのです。

本展で展示される有元の素描に目をやると、実にさまざまな芸術世界が広がっていることに気づくのではないのでしょうか。有元は自らの芸術における素描類の重要性をはっきり認識していました。彼の素描は対象再現的なものではなく、むしろルネサンスの素描にならって、より線の強

さと量感を求めており、「線」と「量感」こそ、芸術家の想像力が問われる場だったのです。

有元は「見ているうちにどこからともなくチェンバロの調べが聞こえてくるような、そこに音楽が漂っているような画面」の制作を追求していました。本展に出品される作品は演奏会の音楽ではなく、バロックリコーダーを嗜んでいた芸術家が心の赴くままにアトリエで奏でる音楽に比することができるでしょう。展示室に満たされた静謐な音楽に、ぜひ耳を傾けてみてください。

### 【有元利夫（1946-1985）】

岡山県生まれ。1969年東京芸大美術学部デザイン科に入学し、在学中は日本画や彫刻、版画だけでなく音楽学部にも足を運び、多彩なジャンルを吸収する。卒業後は会社勤めをしながら制作活動に励むが、やがて画業に専念。1978年「花降る日」で第21回安井賞特別賞、1981年「室内楽」で第24回安井賞を受賞。在学中の欧州旅行で目にした古代やイタリア・ルネサンス期のフレスコ画に感銘を受け、その背景描写に日本の古仏、「平家納経」などとの共通性を見出した。それらをもとに、岩絵具や箔を用いた独特のかすれを見せる表現を確立した。独特のデフォルメを施した人物像は簡素ながらも量感にあふれ、詩情に満ちた画面はしばしば音楽にたとえられる。

### 3. 出品作品（予定）



a



b



c

a-c : 『もう一つの空』挿画

d : 裸体デッサン

e : エスキース



d



e

展示品：

エスキース、スケッチブック、浪人時代のクロッキー、挿絵類

#### 4. 関連イベント

ギャラリートークほか、イベントを予定しています。

詳細は WEB ページで順次公開いたします。

<http://www.art-c.keio.ac.jp/news-events/event-archive/artist-voice02/>

#### 5. 会場案内

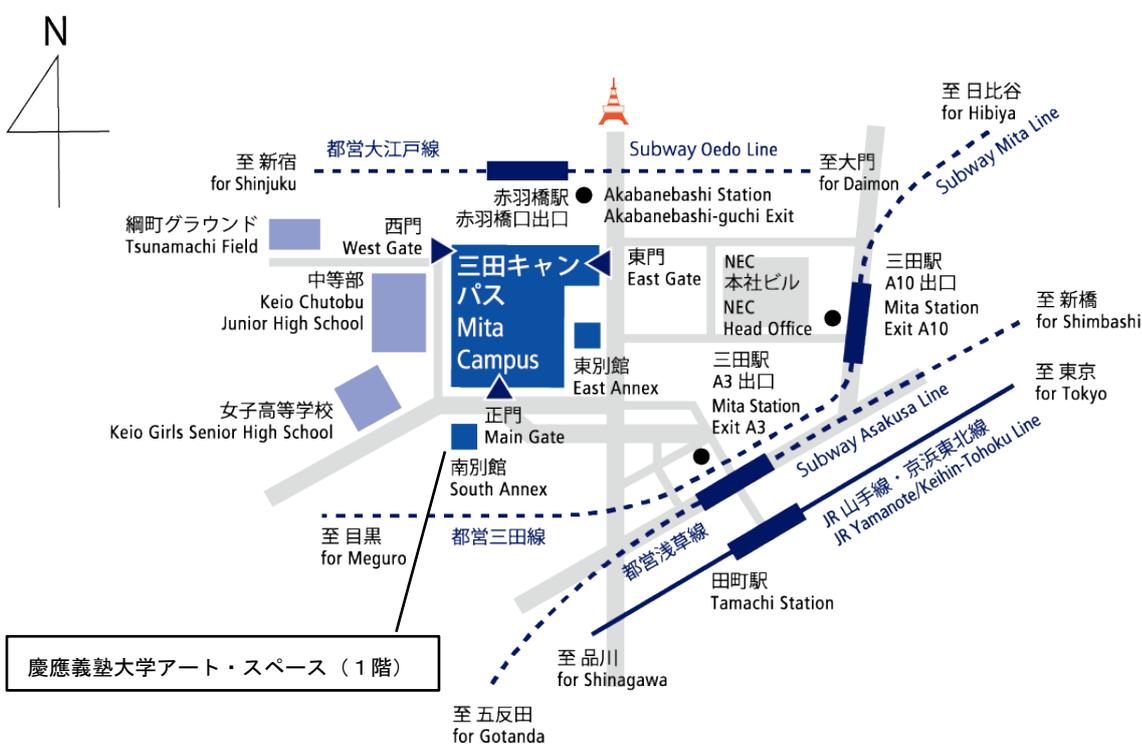
会場：慶應義塾大学アート・スペース（三田キャンパス南別館 1 階）

住所：〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

交通アクセス：田町駅（JR 山手線／JR 京浜東北線）徒歩 8 分

三田駅（都営地下鉄浅草線／都営地下鉄三田線）徒歩 7 分

赤羽橋駅（都営地下鉄大江戸線）徒歩 8 分



※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社社会部、文化部等に送信させていただいております。

#### 【本発表資料のお問い合わせ先】

慶應義塾広報室（豊田）

TEL：03-5427-1541 FAX：03-5441-7640

E-mail：m-pr@adst.keio.ac.jp

<https://www.keio.ac.jp/>